

第 68 回日本臨床眼科学会

会 期：2014 年 11 月 13 日（木）～11 月 16 日（日）

会 場：神戸ポートピアホテル

〒650-0046 神戸市中央区港島中町 6-10-1 Tel：078-302-1111

神戸国際展示場

〒650-0046 神戸市中央区港島中町 6-11-1 Tel：078-302-1020

会 長：白神史雄（岡山大学医学部眼科学教室）

副会長：大野敦史（岡山県眼科医会）

プログラム委員長：榛村重人（慶應義塾大学医学部眼科学教室）

テーマ：Academism

主 催：岡山大学医学部眼科学教室

〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町 2-5-1

事務局長：森實祐基（岡山大学医学部眼科学教室）

木村修平（岡山大学医学部眼科学教室）

主なプログラム：

特別講演

「小児の眼底が教えてくれること—疾患の理解から未来の医療へ—」東 範行（国立成育医療研究センター）

「角膜疾患におけるアンメットメディカルニーズへの挑戦」西田幸二（大阪大）

招待講演

「What is Next for Glaucoma?」Robert N. Weinreb（University of California, San Diego）

「Understanding AMD：Assembling the Puzzle Pieces」

Joan W. Miller（Eye and Ear Infirmary, Harvard Medical School Massachusetts）

シンポジウム

一般演題（講演・学術展示）

インストラクションコース

コメディカルプログラム

Special Interest Group Meeting（SIG）

専門医制度講習会

屈折矯正手術講習会

オルソケラトロジー講習会

各種セミナー（モーニング、ランチョン、イブニング）

日本眼科医療機器協会併設器械展示会

市民公開講座

ホームページ：<http://68ringan.jtbcom.co.jp/index.html>

事務局：第 68 回日本臨床眼科学会 事務局

〒530-0001 大阪市北区梅田 3-3-10 梅田ダイビル 4 階

（株）JTB コミュニケーションズ コンベンション事業局内

Tel：06-6348-1391 Fax：06-6456-4105 E-mail：68ringan@jtbcom.co.jp

第 48 回眼科臨床病理組織研究会

（第 68 回日本臨床眼科学会 SIG）

日 時：2014 年 11 月 13 日（木）17：10～18：40（予定）

会 場：神戸国際会議場 or ポートピアホテル

学会・研究会のご案内

会 長：石橋達朗

連絡先：〒812-8582 福岡県福岡市東区馬出 3-1-1

九州大学眼科内 日本眼病理研究会

担当：吉川 洋 (yossy@med.kyushu-u.ac.jp)

Tel：092-642-5648 Fax：092-642-5663

第 15 回日本ロービジョン学会学術総会 【専門医認定事業】

期 日：2014 年 11 月 1 日（土）～11 月 2 日（日）

場 所：太宮ソニックシティ

〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-7-5

テーマ「広げよう！ロービジョンケアの輪」

会 長：江口万祐子（獨協医科大学越谷病院眼科）

○特別講演：「これからのロービジョンケア～20 年の軌跡から～」

高橋 広（北九州市立総合療育センター・獨協医大・越谷）

○教育講演：「眼科における在宅医療・介護について～今 私達は何をすべきか～」

日比野久美子（真清クリニック・千葉県医師会理事）

○シンポジウム 1：テーマ「医療：次世代を育てる」

「視能訓練士学生での試み」

「医学生・看護学生での試み」

「ポリクリでの試み」

「医学生（医の倫理）での試み」

○シンポジウム 2：テーマ「地域で働く視覚リハ専門家の現状から見えて来ること

ー医療と福祉も連携は相互理解からー」

「スマートサイト，中間型アウトリサーチとは」

「医療と福祉の連携を実現するための地域の連携ー高齢のロービジョン者の事例を中心にー」

「医療から福祉，そして医療へ」

「千葉大学病院眼科ロービジョン外来での福祉相談ー医療・福祉連携の現状と課題ー」

○パネルディスカッション：テーマ「医療と教育の連携を問うーコミュニケーションギャップの克服に向けてー」

「発達障害児へのビジョンケアから連携を問うー教育現場のニーズに眼科医が応えられることー」

「インクルーシブ教育システムで求められる連携の在り方」

「医療機関からの情報は学校でどう扱われているのかーロービジョン児への対応に見る医療と教育の溝ー」

○ランチョンセミナー：遮光眼鏡と羞明のメカニズム

○特別企画：視能訓練士ミニセミナー「理解を深めよう，視覚障害者手帳」

○市民公開講座：テーマ「医療連携：全身疾患からロービジョンケアを考える」

登録費（当日）：会員 8,000 円，非会員 10,000 円，懇親会費 4,000 円

連絡先：〒343-8555 埼玉県越谷市南越谷 2-1-50

獨協医科大学越谷病院 眼科 担当者 堀江 恵

Tel：048-965-8659（内線 2685） Fax：048-965-8659 E-mail：15th-jslrr@dokkyomed.ac.jp

第 3 回日本ロービジョン学会研修会 【専門医認定事業】

会 期：2014 年 11 月 3 日（月・祝）

会 場：大宮ソニックシティ市民ホール 4 階（第 15 回日本ロービジョン学会学術総会会場に隣接）

研修 1：「スマートフォン・タブレットの利点と問題点—全盲者とロービジョン者の違い—」

渡辺哲也（新潟大学工学部福祉人間工学科准教授）

9 時～10 時 30 分

先着順 定員 150 名

* スマートフォンをお持ちの方はご持参ください。

研修 2：「非光学的補助具，特に拡大読書器（CCTV）の活用と指導」

山田信也（国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局神戸視力障害センター支援課長）

11 時 30 分～13 時

先着順 定員 60 名

* ご協力・提供された拡大読書器の個数から 60 名とさせていただきます。

受講料：研修 1 は 1,000 円，研修 2 は 3,000 円

本研修会は日本眼科学会眼科専門医制度単位認定および日本視能訓練士協会生涯教育事業認定の申請中です。

申込先：希望する研修，会員番号，所属，氏名，職種と連絡先（郵送先住所）を FAX またはメールで下記にお願いします（非会員の方もお申込みいただけます）。

日本ロービジョン学会事務局研修委員会係

Fax：086-464-0320 E-mail：jslrr@mx3.kct.ne.jp

詳しくは <http://www.jslrr.org/event/detail/1404530275> をご覧ください。

第 127 回青森眼科集談会

開催日時：2014 年 11 月 9 日（日）9：30～15：00

開催会場：リンクステーションホール青森（青森市文化会館）

〒030-0812 青森市堤町 1-4-1

Tel：017-773-7300

参加費：2,000 円（当日徴収）

連絡先（演題募集事務局）：〒036-8562 弘前市在府町 5

弘前大学大学院医学研究科眼科学講座

Tel：0172-39-5095 Fax：0172-37-5735

会 長：中澤 満（弘前大学大学院医学研究科眼科学講座 教授）

E-mail：mitsuru@cc.hirosaki-u.ac.jp

運営事務局：〒030-0847 青森市大野 1-4-1 みずたに眼科

Tel：017-752-0226 Fax：017-752-0216

水谷英之 E-mail：miz@mizutani-ganka.jp

託児コーナー有り

第 237 回 O.C.C.

日 時：2014 年 11 月 22 日（土）14：00～17：00

場 所：第二吉本ビルディング

テーマ：分かりやすい小児眼科&神経眼科

連絡先：大阪大学大学院医学系研究科 眼科学教室

Tel：06-6879-3456 Fax：06-6879-3458

学会・研究会のご案内

第 53 回日本網膜硝子体学会総会・第 31 回日本眼循環学会 合同学会

会 期：2014 年 11 月 28 日（金）～11 月 30 日（日）

会 場：大阪国際会議場

会 長：第 53 回日本網膜硝子体学会総会 会長 池田恒彦（大阪医大）

第 31 回日本眼循環学会 会長 白木邦彦（大阪市大）

主なプログラム：

◆第 53 回日本網膜硝子体学会総会

特別講演「網膜色素変性への挑戦」

座長：池田恒彦（大阪医大）

演者：中澤 満（弘前大）

シンポジウム「網膜硝子体手術～合併症の予防と対策」

オーガナイザー：平形明人（杏林大），日下俊次（近畿大堺病院）

◆第 31 回日本眼循環学会

招待講演「Retinal laser in the age of Anti-VEGF therapy」

座長：白木邦彦（大阪市大）

演者：Johann Roeder（Universitätsklinikum Schleswig-Holstein Klinik für Ophthalmologie）

シンポジウム「黄斑浮腫への閾値下レーザー治療（仮題）」

オーガナイザー：小椋祐一郎（名古屋大），大越貴志子（聖路加国際病院）

◆第 53 回日本網膜硝子体学会総会・第 31 回日本眼循環学会 合同学会

合同シンポジウム「網膜硝子体疾患と治療－将来に向かっての展望－」

オーガナイザー：北岡 隆（長崎大），高橋寛二（関西医大）

合同教育セミナー「網膜硝子体疾患の診断と治療」

オーガナイザー：山本修一（千葉大），大路正人（滋賀医大）

参加費：

参加区分	当日登録
会員医師	¥13,000
非会員・企業	¥15,000
医師以外（コメディカル・その他）	¥8,000

ホームページ：<http://convention.jtbcom.co.jp/rvoc2014>

事務局：第 53 回日本網膜硝子体学会総会/第 31 回日本眼循環学会 合同学会運営事務局

〒530-0001 大阪市北区梅田 3-3-10 梅田ダイビル 4 階

（株）JTB コミュニケーションズ コンベンション事業局内

Tel：06-6348-1391 Fax：06-6456-4105 E-mail：rvoc2014@jtbcom.co.jp

第 55 回日本視能矯正学会

会 期：2014 年 11 月 29 日（土）

会 場：国立京都国際会館

〒606-0001 京都市左京区岩倉大鷲町 422

会 長：河賀友紀（神戸大学医学部附属病院）

名誉会長：中村 誠（神戸大学大学院医学研究科外科系講座眼科学）

主 催：公益社団法人日本視能訓練士協会

テーマ：The NEXT～時代のスペシャリストを目指して～

プログラム (予定):

特別講演「網膜再生医療の最前線」高橋政代 (理化学研究所)

シンポジウム「OCT up to date」

1) 「前眼部 OCT」

稲富 勉 (京都府立医科大学)

2) 「後眼部 OCT 網膜・脈絡膜」

永井由巳 (関西医科大学)

3) 「後眼部 OCT 視神経」

金森章泰 (神戸大学)

4) 「撮影のコッター測定に及ぼす影響とマップの読み方ー (仮)」

山下 力 (川崎医療福祉大学)

一般講演 (口演, ポスター)

共催セミナー

生涯教育セミナー

機器・医薬品展示, 書籍展示

学会ホームページ URL...<http://55ort.jtbcom.co.jp>

参加費:

参加区分	会員	非会員	学生
当日登録	¥7,000	¥12,000	¥500

運営事務局: 株式会社 JTB コミュニケーションズ コンベンション事業局

〒141-8657 東京都品川区上大崎 2-24-9 アイケイビル 3F

Tel: 03-5434-8759 Fax: 03-5434-8694 E-mail: 55ort@jtbcom.co.jp

第 70 回日本弱視斜視学会総会・第 39 回日本小児眼科学会総会・アメリカ小児眼科斜視学会合同学会 (JASA-JAPO-AAPOS Joint Meeting in Kyoto)

会 期: 2014 年 11 月 29 日 (土) ~ 12 月 1 日 (月)

会 場: 国立京都国際会館

会 長: 第 70 回日本弱視斜視学会総会<日本語> (総会長 不二門尚) 11 月 30 日 (日)

第 39 回日本小児眼科学会総会<日本語> (総会長 東 範行) 11 月 29 日 (土)

アメリカ小児眼科斜視学会<英語> (会長 Christie Morse) 11 月 30 日 (日) ~ 12 月 1 日 (月)

全日同時通訳付

第 30 回日本弱視斜視学会講習会<日本語> (会長 不二門尚) 11 月 30 日 (日)

第 26 回日本小児眼科学会講習会<日本語> (会長 東 範行) 11 月 29 日 (土)

アメリカ小児眼科斜視学会プログラム委員長: Stephen P Christiansen

合同学会世話人: 佐藤美保・東 範行・不二門尚・横山 連・仁科幸子・内海 隆

参加費:

区 分	JASA and or JAPO 会員		非 JASA and 非 JAPO 会員			
	医師	視能訓練士 コメディカル	医師 研究者 会社員	視能訓練士 コメディカル	研修医	学生 同伴者
当日登録	¥16,000	¥11,000	¥18,000	¥13,000	¥13,000	¥3,000

JASA: 日本弱視斜視学会/JAPO: 日本小児眼科学会

区 分	講 習 会			
	医師	視能訓練士 コメディカル	研修医	学生
当日登録	¥3,000	¥2,000	¥2,000	¥1,000

学会・研究会 ご案内

プログラム概要：

I. 日本小児眼科学会 (JAPO) <第2会場 アネックス1>

JAPO 日本小児眼科学会総会 (第39回) 11月29日 (土) 14:00~16:00

シンポジウム

1. 小児眼科診療のスタンダードと進歩 14:00~15:00

- 1) 白内障：黒坂大次郎 (岩手医科大学)
- 2) 緑内障：木内良明 (広島大学)
- 3) 感染症：外園千恵 (京都府立医大)
- 4) 腫瘍：鈴木茂伸 (国立がん研究センター)

2. 健診と学校保健を考える 15:00~16:00

- 1) 屈折異常の管理：八子恵子 (福島県立医大)
- 2) 外傷：野村耕治 (兵庫県立こども病院)
- 3) 健診における医師・視能訓練士の関わり：仁科幸子 (国立成育医療研究センター)
- 4) 弱視・ロービジョンの管理 (就学相談・弱視学級・特別支援級)：杉山能子 (金沢大)

JAPO 日本小児眼科学会講習会 (第26回) 11月29日 (土) 16:00~18:00

迷うことが多い小児疾患の診かた

- 1) 色覚異常の検査と考え方：村木早苗 (滋賀医科大学)
- 2) 紛らわしい斜視と複視：木村亜紀子 (兵庫医科大学)
- 3) 紛らわしい前眼部疾患の診かた考え方：羅 錦營 (羅眼科)
- 4) 紛らわしい眼底疾患の診かた考え方：林 英之 (福岡大学)

JAPO 日本小児眼科学会ランチョンセミナー (英語) 11月30日 (日) 12:00~13:30

Luncheon Seminar 4 (Congress Hall 2・Annex 1 : Co-sponsored by Alcon Japan Ltd.)

Theme : Vitreoretinal surgeries in children/Chair : Hiroko Terasaki (Nagoya University)

- 1) Shunji Kusaka : Surgery for Coats disease and PVR
- 2) Hiroyuki Kondou : Surgery for retinal detachments with inherited retinal diseases in children

JAPO 日本小児眼科学会ポスター討論 (英語) <ポスター会場：アネックス2・ロビー>

11月30日 (日) 15:00~16:00

JAPO Poster Discussion (Hall : Annex-2 and Lobby)

II. 日本弱視斜視学会 (JASA) <第1会場 大会議場>

JASA 日本弱視斜視学会総会 (第70回) 11月30日 (日) 9:00~12:00/13:30~15:00

シンポジウム

1. 弱視 9:00~10:00

- 1) 弱視治療のEBM：三木淳司 (川崎医大)
- 2) 弱視と紛らわしい症例：近藤峰生 (三重大)

2. 間歇性外斜視 10:00~11:00

- 1) 視能訓練の可能性と限界：松本富美子 (近畿大堺病院)
- 2) 手術時期の判断：横山 連 (大阪市立総合医療センター)

3. 近視 11:00~12:00

- 1) 眼鏡処方スタンダード：長谷部 聡 (川崎医大)
- 2) 小児のコンタクト：いつから？なにを？：植田喜一 (植田眼科)

4. ロービジョン 13:30~15:00

- 1) アイパッドを用いた小児のロービジョンケア：三宅 琢 (東京医大)
- 2) 再生医療、人工網膜の時代のロービジョンケア：不二門 尚 (大阪大)

JASA 日本弱視斜視学会講習会 (第30回) 11月30日 (日) 16:00~18:00

斜視の長期経過

- 1) 乳児内斜視：矢ヶ崎悌司 (眼科やがさき医院)
- 2) 調節性内斜視：村木早苗 (滋賀医大)

3) 間歇性外斜視：初川嘉一（大阪府立母子保健総合医療センター）

4) 上斜筋麻痺：牧野伸二（自治医大）

JASA 日本弱視斜視学会ランチョンセミナー 11月30日（日）12:00~13:30

共催ランチョンセミナー1（第1会場 大会議場：共催 参天製薬株式会社）

テーマ 眼精疲労/座長：内海 隆（内海眼科）

1) レーシックと眼精疲労：三宅三平（勝川三宅眼科）

2) 斜視と眼精疲労：菅澤 淳

共催ランチョンセミナー2（第3会場 Room C-1：共催 グラクソ・スミスクライン株式会社）

テーマ 眼瞼痙攣の診断と治療/座長：三村 治（兵庫医大）

1) 眼瞼痙攣の診断（仮）：山上明子（井上眼科病院）

2) 注射の仕方の工夫と長期予後（仮）：木村亜紀子（兵庫医大）

共催ランチョンセミナー3

（第4会場 Room C-2：共催 株式会社JFCセールスプラン・ジャパンフォーカス株式会社）

テーマ 日本発の次世代両眼視機能検査・訓練装置 ORTe/座長：不二門 尚（大阪大）

1) 新しい両眼視機能検査・訓練装置の創意工夫：半田知也（北里大学医療衛生学部）

2) ORTe による小児の検査：仁科幸子（国立成育医療研究センター）

JASA 日本弱視斜視学会ポスター討論 <ポスター会場：アネックス2・ロビー>

11月30日（日）15:00~16:00

III. アメリカ小児眼科学会 <第2会場 アネックス1>

(Combined AAPOS-JAPO-JASA International Meeting)

シンポジウム

11月30日（日）

9:00~12:00

1. Diagnostic Techniques (Chair: Derek Sprunger)

2. Glaucoma (Chair: Frank Martin)

3. Retina (Chair: Glen Gole)

13:30~15:00

4. Anterior Segment and Cataract (Chair: Sherwin Isenberg)

16:00~18:00

5. Orbital Tumor and Oculoplastic Surgery (Chair: Sonal Farzavandi)

6. Neuro-Ophthalmology (Chair: Stephen Christiansen)

12月1日（日）9:00~12:00

7. Management of Amblyopia and Binocular Vision (Chair: Mary Louise Collins)

8. AACO Symposium (Chair: Cheryl McCarus)

9. Myopia Symposium (Chair: Takashi Fujikado)

運営事務局：(株) アカデミック・ブレインズ

Fax: 06-6949-8138

E-mail: info@trio2014.jp

The 12th Meeting of International Strabismological Association 第12回国際斜視学会 (ISA 2014)

会 期：2014年12月1日（月）~12月4日（木）

会 場：国立京都国際会館

会 長：佐藤美保（浜松医科大学）

国内組織委員：不二門 尚（大阪大学）

横山 連（大阪市立総合医療センター小児眼科）

学会・研究会のご案内

内海 隆（内海眼科医院）

カテゴリー	ISA Member		non-ISA Member			同伴者 学生
	眼科医 医師 研究者	視能訓練士 コメディカル	眼科医 医師 研究者 会社員	視能訓練士 コメディカル	研修医	
当日登録	¥60,000	¥50,000	¥70,000	¥60,000	¥60,000	¥25,000

プログラム：

Bielschowsky Lecture（Tuesday Morning, December 2, 2014） Tsuranu Yokoyama

Monday, December 1, 2014

14：00～18：00：Poster Set Up

14：00～：Begin Registration/Day Nursery

14：30～18：30：ISA Council Meeting

18：30～19：30：Get Together（Annex Lobby, Congress Venue）

Tuesday, December 2, 2014

08：00～：Breakfast

08：30～09：00：Opening Ceremony

09：00～12：30：Bielschowsky Lecture（Tsuranu Yokoyama）/Free Paper Sessions

12：30～13：30：Lunch

13：30～18：00：Symposium（Amblyopia）/Symposium（IOA）/Rapid Fire Session/Free Paper Sessions

18：30～20：30：Welcome Reception（Music on Human Eyes）（Sakura Hall）

Dress Code：Smart Casual

Wednesday, December 3, 2014

08：00～08：50：Workshops（1-3）/Breakfast

09：00～12：30：Symposium（Picturing the strabismus）/Free Paper Sessions

12：30～13：30：Lunch with Workshop（4）

13：30～18：00：Free Afternoon

Congress Tour（Origami Workshop）

18：30～21：00：Gala Dinner（Traditional Japanese, Grand Prince Hotel Kyoto）

Dress Code：Lounge Suit（additional fee required）

Thursday, December 4, 2014

08：00～08：50：Workshops（5-7）/Breakfast

09：00～11：30：Symposium（Surgery）/Free Paper Sessions

11：30～12：30：ISA Business Meeting

12：30～13：20：Lunch

13：20～18：10：Scientific Sessions/Round Table Discussion

18：10～18：30：ISA 2014 Closing Ceremony

Scientific Sessions—General Programme—

Symposium 1：Amblyopia Management 2015

Chair/Michael X. Repka and Glenn A. Gole

Repka MX：PEDIG Amblyopia studies：Useful and/or unexpected findings

Gole GA：Functional deficits in amblyopia

Fielder A：Monitoring compliance with amblyopia therapy

Holmes JM：New treatments for amblyopia and future trials

Symposium 2：Picturing the Neuromuscular Causes of Strabismus

Chair/Tsuranu Yokoyama and Joseph L. Demer

Yokoyama T : Discovering the cause of highly myopic strabismus

Demer JL : Extraocular muscles : Not the sums of their parts

Hwang J-M : The Nerve of that muscle ! Imaging the cranial nerves

Nishida Y : MRI Quantifies inflammation in thyroid ophthalmopathy

Symposium 3 : Results beyond the Angle : Functional Outcomes of Strabismus Surgery

Chair/John J. Sloper and Andrea D. Molinari

Sloper JJ : Measuring outcomes in intermittent exotropia

Molinari AD : Easing the strabismus surgery experience

Ing M : The stability of the functional cure in Infantile esotropia

Buckley E : Improving strabismus outcomes : Straight in primary gaze is not enough !

IOA Symposium : Ophthalmic Prisms-from Diagnosis to Therapy

Moderator/Gail Stephenson Chair/Karen McMain

Speakers : Godts D, Davis H, Wahl B and Wakayama A

Round Table Discussion : New Strategies of Strabismus Surgery

Moderator/Anthony Murray

Speakers : Stanković B, Goldschmit M, Marcon G, Murray A, Farzavandi S, Wang A-G and Ozkan S

Workshops

Workshop 1 : Fiona Rowe(Chair):British and Irish Orthoptic Society-Orthoptic research underpinning clinical Practice

Workshop 2 : Zia Chaudhuri and Joseph Demer(Chair):The Sagging Eye Syndrome:Genesis and Management of Vertical and Horizontal Strabismus in the Elderly

Workshop 3 : Alain Spielmann and Sonal Farzavandi (Chair) : The Course of Strabismus during a Lifetime

Lunch with Workshop 4 : Mohamad S. Jaafar and Lionel Kowal (Chair) : Restrictive Strabismus

Workshop 5 : Seyhan Ozkan (Chair) : Botulinum Toxin in Pediatric Strabismus

Workshop 6 : Galton C. Vasconcelos (Chair) : Thyroid Eye Disease : Common Dilemmas and Solutions

Workshop 7 : Linda R Dagi (Chair) : Management of Strabismus in Association with Craniosynostosis

ホームページ : <http://www.isa2014.jp/>

事務局 : (株) アカデミック・ブレインズ

Fax : 06-6949-8138 E-mail : info@trio2014.jp

第 52 回日本神経眼科学会総会

会 期 : 2014 年 12 月 12 日 (金) ~12 月 13 日 (土)

会 場 : 幕張メッセ

〒261-0023 千葉県美浜区中瀬 2-1 TEL : 043-296-0001

会 長 : 山本修一 (千葉大学大学院医学研究院眼科学)

事務局長 : 忍足俊幸 (千葉大学大学院医学研究院眼科学)

テーマ : 神経眼科の治療学

主なプログラム :

特別講演

シンポジウム 1 「NMO 最前線」

シンポジウム 2 「網膜・視神経の神経保護と再生」

一般口演, ポスター展示

共催セミナー

機器展示, 書籍展示

主 催 : 千葉大学大学院医学研究院眼科学

学会・研究会のご案内

〒260-8677 千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8 Tel : 043-222-7171

事務局：(株) JTB コミュニケーションズ コンベンション事業局

Tel : 06-6348-1391 Fax : 06-6456-4105 E-mail : 52janos@jtbcom.co.jp

真菌症フォーラム 第 16 回学術集会

会 期：2015 年 2 月 14 日（土）13：00～18：15（予定）

会 場：第一ホテル東京

〒105-8621 東京都港区新橋 1-2-6 Tel : 03-3501-4411（代表）

会 長：河野 茂（長崎大学病院）

テーマ：真菌症フォーラム 16 年の軌跡

参加費：医療従事者 3,000 円 企業・メーカー 6,000 円

抄録集・情報交換会会費を含みます。また、事前の登録はございません。

共 催：真菌症フォーラム/ファイザー株式会社

表 彰：応募演題は、抄録による事前、および当日の発表内容を基に採点を行います。

優秀賞・奨励賞・トラベルグラントを設定しており、賞状と副賞として賞金を授与させていただいております。

連絡先：真菌症フォーラム第 16 回学術集会運営事務局

（株式会社協和企画 コンベンション事業本部内）

〒105-8320 東京都港区虎ノ門 1-10-5 日土地虎ノ門ビル

担当：飯塚/中山

Tel : 03-6838-9230 E-mail : mycoses@kk-kyowa.co.jp

第 119 回日本眼科学会総会

会 期：2015 年 4 月 16 日（木）4 月～19 日（日）

会 場：ロイトン札幌（〒060-0001 札幌市中央区北 1 条西 11-1 TEL : 011-271-2711）

さっぽろ芸術文化の館（〒060-0001 札幌市中央区北 1 条西 12 TEL : 011-231-9551）

札幌市教育文化会館（〒060-0001 札幌市中央区北 1 条西 13 TEL : 011-271-5822）

総会長：吉田晃敏（旭川医科大学 学長）

副総会長：田川 博（北海道眼科医会 会長）

主管校：旭川医科大学 眼科学講座

プログラム（予定）：

特別講演 1 「加齢黄斑変性の診断と治療（仮）」

吉村長久（京都大）

特別講演 2 「網膜疾患とハンフリー視野計」

飯島裕幸（山梨大）

招待講演 1 「Does the microbiome cause uveitis ?」

James T. Rosenbaum (Oregon Health & Science University)

招待講演 2 「未定」

Alexander J. Brucker (University of Pennsylvania Perelman School of Medicine)

評議員会指名講演

「次世代の眼科治療」

高橋政代（理化学研究所）

西田幸二（大阪大）

白井智彦（東京大）

（その他プログラム）International Symposium, シンポジウム, Best of AAO, 教育セミナー, サブスペシャリティ・サンデー, スキルトランスファー, 日本眼科学会学術奨励賞受賞講演, 第 68 回日本臨床眼科学会 学術展示優秀賞受賞講演, 一般講演, 学術展示, 日本眼科学会 専門医制度講習会, 日本眼科学会 専門医制度指導医講習会, オルソケラトロジー講習会, モーニングセミナー, ランチョンセミナー, イブニングセミナー, フェアウェルセミナー, 市民公開講座, 併設器械展示など

演題募集期間

指定演題 2014 年 10 月 1 日（水）11 時～12 月 25 日（木）13 時

一般演題 2014 年 10 月 1 日（水）11 時～11 月 25 日（火）13 時

※応募の詳細は、本会ホームページの演題募集ページをご参照ください。

事前参加登録

2014 年 10 月 1 日（水）～2015 年 2 月 6 日（金） 当日払込分まで有効

郵便払込取扱票は、「日本眼科学会雑誌」もしくは「日本の眼科」11 月号に綴じ込みますのでご利用ください。

参加区分	事前登録	当日登録
会 員：医師	¥10,000	¥15,000
会 員：後期臨床研修医, 大学院生, ORT, 留学生等	¥5,000	¥8,000
非会員：医師, 企業・民間研究員等	¥15,000	¥20,000
非会員：後期臨床研修医, 大学院生, ORT, 留学生等	¥8,000	¥12,000
医学部学生・初期臨床研修医・視能訓練士学校生	—	無料

※詳細は学会ホームページ（<http://119jos.jtbcom.co.jp/>）をご覧ください。

問い合わせ先：

第 119 回日本眼科学会総会 運営事務局

株式会社 JTB コミュニケーションズ コンベンション事業局内

〒530-0001 大阪市北区梅田 3-3-10 梅田ダイビル 4F

TEL：06-6348-1391（平日 10：00～18：00） FAX：06-6456-4105 E-mail：119jos@jtbcom.co.jp

※土日祝日および時間外でのお問合せは、E-mail もしくは FAX でお願いいたします。

第 53 回日本神経眼科学会総会

会 期：2015 年 11 月 6 日（金）～11 月 7 日（土）

会 場：大宮ソニックシティ

さいたま市大宮区桜木町 1-7-5

総会長：鈴木利根

事務局長：椎葉義人

事務局（連絡先）：獨協医科大学越谷病院眼科

〒343-8555 埼玉県越谷市南越谷 2-1-50

Tel：048-965-1111（内線 2685）